

令和元年度(2019年度)の市立ひらかた病院の運営方針について

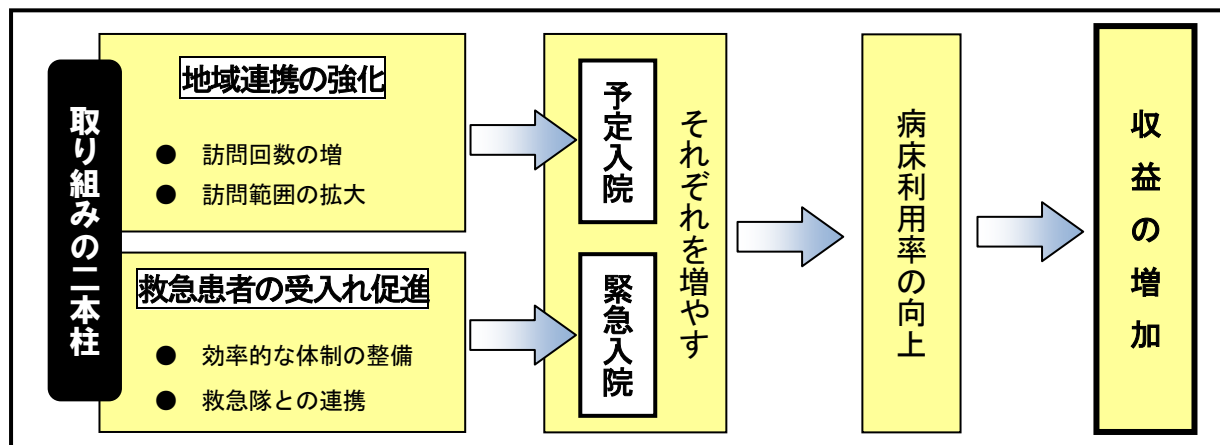
本院は、北河内二次医療圏における唯一の市立病院として、基本理念として掲げる「心のかよう医療を行い、信頼される病院」のもと、患者の皆さんや地域の皆さんとの信頼関係を築き、安心と満足を得られる質の高い医療を提供することで地域への貢献に努めています。

令和元年度はこれまでと同様に、救急医療や小児二次救急、災害時医療などの公立病院としての責務を果たしつつ、持続的な経営努力を重ね、地域に根ざした市民から信頼される病院であり続けるよう、職員全員が一丸となって取り組んでいくものです。

1. 経営健全化の取り組みに関する方針及び重点項目について

(1) これまでからの重点的な取り組み

平成30年度まで、病院経営の健全化には入院収益を向上させることが特に重要であることから、患者数を増やし、病床稼働率を向上させるため、「地域連携からの紹介強化」「救急患者の受け入れ



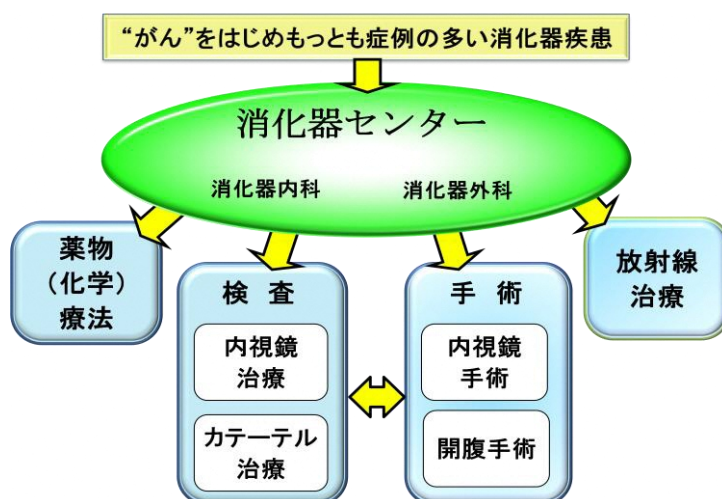
促進」を取り組みの2本柱と位置づけ、取り組みを進めてきました。

(2) 今年度の新たな(更なる)取り組み

① 消化器センターの立ち上げ

本院に、消化器内科と消化器外科を統合した『消化器センター』を新たに設置し、内科医・外科医が1つのチームとして専門性の高い医療を、他の医療スタッフとの緊密な連携のもとに行うことで、がんを始めとした消化器疾患全般に対し、幅広く包括的に対応します。

この消化器センターを本院における診療の柱として、様々な媒体を利用して積極的にPRすることにより、救急患者の受入や手術件数を増加させ、収益の改善にも繋がります。



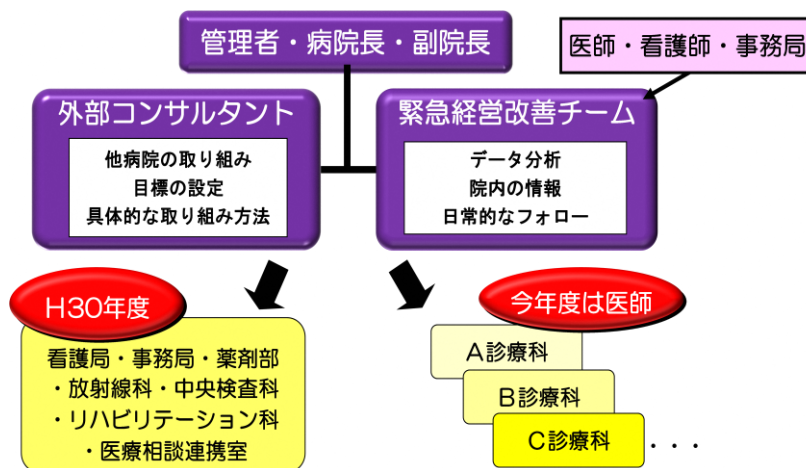
(裏面に続く)

② 外部コンサルタントの活用

平成 30 年度から、病院経営に関して豊富な知識や経験を持つ外部コンサルタントを導入し、院内に設置する「緊急経営改善チーム」との連携のもと、経営改善に向けた取り組みを行ってきました。

昨年度は、主に看護局や事務局、コメディカルの各職場を対象に面談を行った上で、具体的な目標を設定するとともに、その達成に必要な助言や提案を受け、各職場において目標達成に向けた取り組みを行ってきました。

これを、今年度からは主に医師に対して実施し、診療科ごとの課題を明確に示した上で、取り組みを進めていくものです。



2. 公立病院としての果たすべき責務と情報の積極的な発信について

(1) 政策医療の充実

北河内二次医療圏における唯一の市立病院としての責務を果たすため、引き続き、救急医療の受け入れ促進とともに、緩和ケア病棟の運用などがん診療の充実や感染症の緊急入院にも適確・迅速に対応できる体制の整備等にも引き続き取り組んでいきます。

(2) 災害医療センターとして市民の安全・安心の確保

本院が「災害医療センター」として位置付けられていることから、災害時においてその状況に応じて被災地域の内外を問わず、救命医療を最優先とする迅速かつ適切な医療救護活動を担えるよう、また、平成 30 年度の大阪北部地震や台風 21 号での経験を、今後の災害対応に活かせるよう、本院における「災害対応マニュアル」の改訂を行います。

また、災害医療訓練を実施し、職員の危機管理対応能力の向上や浸透を図ってまいります。

(3) 積極的な情報発信

本院が地域の中核病院として住民から選ばれる病院となるよう、ホームページの充実やInstagramの活用、また近隣に位置する関西外国語大学との連携による活動などを積極的に行うことで、本院の魅力や診療活動等の情報を発信していきます。